

3割お得な宿泊券

県内のおかみ「ぜひ来て」

宿泊券をPRする「おかみ会」
会長の阿部憲子さん（南三陸町）



〈宮城〉県内の旅館やホテルのおかみが協力し、1万円の価格で1万3千円分の宿泊券などとして利用できる「みやぎお宿エール券」を21日に売り出した。

6月5日まで販売、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、利用期間を7月1日から12月29日までとした。おかみ会会長の阿部憲子さん(58)は「落ち着いた

ら、ぜひ泊まりに来てほしい」と話している。

エール券は1千円券13枚つづり。東日本大震災の津波で大きな被害を受けた沿岸部や、仙台市の秋保温泉、大崎市の鳴子温泉などにある17の宿泊施設で買える。購入先の施設で宿泊代のほか、食事や入浴、お土産代などに充てることができる。

17施設は外出自粛に伴い利用客が急減し、経営が厳しい。おかみ会は「前向きな気持ちを持って、できることから始めたい」（阿部さん）とエール券を考案した。

問い合わせは阿部さんがおかみを務める「南三陸ホテル観洋」内の事務局0226・46・2442。

2020年5月22日 産経新聞